

町の10年間を振り返る

平成23年 (2011)

朝市通りに五城目朝市ふれあい館が完成し、地域の活気を生む施設として活用されています。

また、当町の郷土料理「だまこ鍋」が第26回国民文化祭全国ご当地鍋フェスタで準グランプリを獲得し、全国に当町をPRすることができました。



3月11日、東日本大震災が発生。町では、直接的な被害はなかったものの、岩手県大槌町を訪れていた町民36人が被災。同町で避難場所などの提供を受け、2日後、全員無事に帰町しました



朝市通りに五城目朝市ふれあい館がオープン。入り口にはだまこマンファミリーの石像を設置



町米消費拡大地域活動推進委員会のだまこ鍋が、全国鍋フェスタで準グランプリ獲得

平成24年 (2012)

10月30日に「第15回全国農業担い手サミットinあきた」へのご出席と県内事情ご視察のため来県されておりました皇太子殿下が、当町にご来町されました。

初めて県内全市町村が参加した「あきたふるさと手作りCM大賞」で当町のCMは2年連続3回目の最優秀賞を受賞しました。



初めて当町を訪れた皇太子殿下を沿道や町役場前で多くの町民が出迎えました



馬場目小全校児童14人が出演したCMが東北6県で年間365回放映されました

平成25年 (2013)

1月からの大雪に始まり、春先は寒い日が続く農作業の遅れがあり、大雨や台風の影響で住宅や道路など広範囲に被害をもたらした1年でした。

また、138年の歴史を刻んだ馬場目小が閉校し、その校舎を活用して起業やコミュニティ活動などを支援する「町地域活性化支援センター」がオープンしました。

閉校した馬場目小の校舎を活用した町地域活性化支援センターには、令和2年10月末には19の企業や大学・学術機関が入居しています



町の観光PRキャラクターにだまこ鍋をイメージした「だまこちゃん」が誕生



馬場目小学校は最後の卒業生4人を送り出し、138年の歴史に幕を閉じました

平成26年(2014)

国民文化祭「全国朝市サミット2014in五城目」を秋の朝市きのこまつりと合わせて開催し、全国15の朝市物産展、浅利香津代さんの基調講演や協賛イベントを開催しました。

また、地域住民の熱意と県や周辺町村の支援により、湖東厚生病院が明るく開放的な建物で開院しました。



みんなが存続と新築を願っていた湖東総合病院が名称を湖東厚生病院に改め、森山の麓に開院しました



五城目一中が第7回全国地産地消給食等メニューコンテストの学校給食・社員食堂部門で文部科学大臣賞を受賞



国民文化祭朝市サミットでは「朝市の魅力の人と心の触れ合いを大切にする」などの共同宣言を採択

平成27年(2015)

町制施行60周年を迎え、記念事業として「NHKのど自慢」を開催し、全国に本町の元氣と魅力を発信しました。

水中歩行用プールを備えた屋内温水プールの大規模改修が完成。町の新たな消防防災の活動拠点となる新消防庁舎が完成しました。

地域に根ざし、地域に愛された大川小は138年の歴史に幕を下ろしました。



小嵐橋など3橋と大台トンネルを整備し、急カーブや幅員の狭さを解消した国道285号中津又道路が開通



応募464組から選ばれた20組が出演したNHKのど自慢では、ゲストの原田悠里さんと氷川きよしさんとともに自慢ののどを全国に披露



秋田県市町村未来づくり協働プログラム・五城目プロジェクトによる大規模改修で屋内温水プールが完成。水泳のほかに水中運動も可能に



大川小学校が閉校し、五城目小学校に統合され、本町では小学校が1校になりました



富津内下山内国道285号沿いに町消防本部庁舎と訓練棟などが完成し、老朽化していた田町の庁舎から移転し業務を開始

平成28年 (2016)

町内外から多くの来場者が訪れる「ごじょうめ朝市plus+」を開始しました。

またお互いさまスーパー「みせっこあさみない」がオープンし、「秋田県市町村未来づくり協働プロジェクト」などにより、元気な地域づくりを推進しました。



520年の朝市の歴史をそのままに、若い世代の出店者や来場者を呼び込む「ごじょうめ朝市plus+」を始めました



町観光協会と町物産協会が合併し、スケールメリットを生かし、地域経済活性化、まちづくりに貢献しようと町観光物産協会がスタート



近所に商店がなくなり、買い物不便になった内川浅見内地区に、お互いさまスーパー「みせっこあさみない」がオープン。運営は浅見内活性化委員会

平成29年 (2017)

「人とまちが響き合うところやすらぐ悠紀の郷五城目」を将来ビジョンとする町総合発展計画の後期基本計画がスタートし、町民それぞれのライフステージに応じた「幸せ」「元気」「安心」が実感できるまちづくりを推進しています。



子育てに関する相談や親子の交流の場として、子育て支援センター「こどもの木」がもりやまこども園に開設

昭和34年に創刊した広報ごじょうめが1000号に到達。

引き続き、町民の皆さんと行政とのよりよい関係を築こうと発行していきます



五城目第一中学校が創立70周年を迎え記念行事を開催。全校生徒による合唱や元祖爆笑王先輩が記念講演を行ったほか、自衛隊音楽隊によるコンサートを開催

平成30年 (2018)

全国各地で地震や台風による大規模な災害が多発しました。本町でも5月・8月の相次ぐ豪雨で甚大な被害に見舞われ、自然災害の猛威にさらされた1年でした。

五城目小新校舎は、充実した教育環境を目指し、広域五城目体育館や町民センターに隣接するエリアに建設することが決まりました。



県道秋田八郎潟線町村バイパスが開通。住宅が密集する町村町内の狭い道路幅と急カーブなどを解消



きやどっこまつり2018ではラッパーの羅漢さん、ダンサーのKO-TANGさん、マジシャンのミスター北さん町出身者が出演

平成31年・令和元年 (2019)

天皇陛下が即位し、元号が「令和」に改まったこの年は、千代田区との姉妹提携30周年記念式典を行い、両自治体がますます発展し、より一層友好が深まることを誓い合いました。

きゃどっこまつりを開催した8月15日は、本町の観測史上最高気温38.1度を記録しました。



令和元年初の広報ごじょうめの表紙は五城目小5年生49人が筆と墨で書いた「令和」を披露。新たな時代が幕を開けました



千代田区との姉妹提携30周年を迎え記念式典を開催し、30年間の様々な交流を通じ深め合った絆を基礎にさらに発展することを誓い合いました



町の観測史上最高気温38.1度となった「きゃどっこまつり2019」では、150人がフラッシュモブで暑い夏を盛り上げました

令和2年 (2020)

新型コロナウイルス感染症が拡大し、予定していた東京2020オリンピック・パラリンピックが延期されました。

9月には秋田県出身初の菅総理大臣が誕生しました。

五城目小新校舎は10月に完成し、年明け1月からの通学に備えています。



雀館運動公園に完成した五城目小学校。メディア棟、学童施設を併設し、間もなく元気な児童の声が響いてきます



新型コロナウイルス感染症が拡大し、全国に緊急事態宣言が発令されるなか、町では町民1人に2枚ずつマスクを配布しました。